



第 104 号

東稲ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成 31 年 1 月 10 日発行

発行責任者 高橋 哲男

編集責任者 小山田朋樹

E-mail: bente-takahashi@jcom.home.ne.jp

http://higashikurume-toumonkai.com/

事務局 大矢 真弘 TEL 042-475-8532

会 長 年 頭 挨拶

東久留米稲門会会長 高橋 哲男

明けましておめでとうございます。昨年の漢字は「災」で災害の多い年でしたが、会員の皆様には、おすこやかに新春を迎えたこととお慶び申し上げます。本年も宜しく願いいたします。また、日頃、稲門会活動をご支援、ご協力いただきまして厚くお礼を申し上げます。

本年度の行事は、1 月 19 日(土)新年会ですが、練馬のワセオケコンサートと同日であることから、開始時間は、13 時 30 分になります。

来年度はコンサートと別の日に開催する予定です。定時総会は 4 月 21 日(日)、講演会の講師は横田治彦会員で地震、防災に関するテーマになります。

また、これまで稲門会を支えていただいた諸先輩に長寿の御祝を検討しています。秋の旨いものは、名称、実施形態を検討中で 8 月～10 月を予定しています。ご家族を含め奮ってのご参加をお待ちしております。

会員数につきましては、定年制の延長等で他の稲門会同様厳しい状況ですが、会員募集方法等を検討し、引き続き取り組んで参りたいと思います。

会員の皆様、東久留米稲門会には 15 の部会があります。どこの部会にも加入していない会員の方は、加入を検討して体験をしてください。稲門会、及び東久留米市との新たな接点ができ楽しみが増えます。どこの部会也大歓迎です。

東久留米市民が楽しみにしている映画鑑賞会は、これまで諸先輩の多大なご負担に深謝するとともに、今後は役員会が中心となって年 4 回(2 月、5 月、9 月、11 月)に開催する予定ですので宜しくご協力をお願いします。

昨年 11 月、早稲田大学では第 17 代田中愛治総長が誕生し、「世界で輝く早稲田」を目標としています。一方、早稲田アリーナが 12 月に竣工しました。

昨年度の早稲田スポーツはやや復活の兆しがありました。野球にしても創部百周年のラグビーにしても前年の成績を上回っています。箱根駅伝は、やや心配ですが、最低シード権は確保してほしいと思っています。早稲田スポーツは、校友の気持ちを繋ぎます。

最後に皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。



会の告知板

【部会予定】

1 月 19 日(土)	東久留米稲門会新年会	13:30	成美教育文化会館
1 月 19 日(土)	諸芸術鑑賞部会「ニューイヤーコンサート」	17:00	練馬文化センター
1 月 21 日(月)	ウォーキング番外編「甲州街道を歩く」第 13 回	06:50	東久留米駅改札口
2 月 3 日(日)	第 5 回役員会	16:00	スペース 105
2 月 4 日(月)	ウォーキング & 山歩き部会 第 70 回「宝登山で蠟梅鑑賞」	08:45	東久留米駅改札口
2 月 5 日(火)	カラオケ部会「馬場さんの米寿を祝う会」	18:30	オンチッチ
2 月 18 日(月)	ウォーキング番外編「甲州街道を歩く」第 14 回	06:50	東久留米駅改札口

2月28日(木)	映画鑑賞会「卒業」	14:00	成美教育文化会館
3月11日(月)	第30回グルメ会「門前茶屋の深川めし」	09:00	東久留米駅改札口
3月13日(水)	ウォーキング&山歩き部会(臨時開催)「高尾梅郷巡り」	<詳細未定>	
4月21日(日)	東久留米稲門会第25回定時総会		成美教育文化会館

【大学・校友会関係】

3月9日(土) 春季代議員会 大隈講堂

<各部会定例活動一覧>

部 会	1 月				2 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	17	木	10:00~	中央町地区センター	14	木	10:00~	中央町地区センター
書 道	13	日	13:00~	成美教育文化会館	10	日	13:00~	西部地域センター
俳 句	20	日	13:00~	成美教育文化会館	17	日	13:00~	生涯学習センター
囲 碁	27	日	13:00~	成美教育文化会館	24	日	13:00~	成美教育文化会館
太極拳	12	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	2	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	19	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	16	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	26	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	23	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
バドミントン	毎週金		10:30~	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:30~	東久留米スポーツセンター

会の報告

◎役員会報告 平成30年度第4回役員会が12月2日(日)16時より生涯学習センターで開催された。

<議事録概要>

高橋会長から開会の挨拶の後、議事に入った。

1. 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係

- (1) 小平稲門会総会 10月13日(土) ルネ小平 村野・大矢
- (2) 稲門祭 10月21日(日) 早稲田大学 中村・山口・高橋・小野
- (3) 三多摩支部総会 10月27日(土) 早大大隈講堂 高橋・村野・小山田・他
- (4) 東村山稲門会総会 11月10日(土) サンプルネ・コンベンションホール 高橋・山岡

2. 秋の旨いもの会(10/20)の反省

次年度も室内で行い、実施時期は次回役員会にて決定することとした。

3. 2019年1月 新年会について

- (1) 日 時 : 平成31年1月19日(土)13:30~ <13:00~16:30 予約>
- (2) 場 所 : 成美教育会館3階 大研修室
- (3) 役割分担 : 責任者(小山田)、受付(小野・片平・山口)、乾杯(平山)、ビンゴゲーム(別処)
中締め(安次峰)

※ビンゴゲーム:参加者に賞品持参を依頼し、かつ商品券も準備する予定。

4. 平成31年度定期総会

- (1) 日 時 : 平成31年4月21日(日)
- (2) 場 所 : 成美教育会館1階ギャラリー、3階大研修室
- (3) 講演者 : 当会会員 横田治彦氏 演題は地震・防災に関する内容の予定
- (4) その他 : 役員の改選時期であるが、2月の役員会に提案する。

5. 東稲会計11月末現況

会計担当の清水氏より、資料に基づき説明があった。



6. 広報関係

(1) ホームページ ⇒ 「東稲ニュース」や「杜の西北」等の古いものが出ていないため、紙ベースのものをPDF化して、見ることができるよう、今後検討する。

(2) 東稲ニュースー記事の募集、印刷日時等 ⇒ 担当の小山田副会長より、今後の運営は編集委員会を立ち上げ、そのメンバーに役割を分担し、作成していきたいとの報告があった。

次号№104(1/10刊行) 原稿締切:12月27日(木) 印刷日:1月9日(水)17:00～生涯学習センター

7. 組織強化補助金20万円の申請について ⇒ 大学校友会より、252,000円入金済み。

8. その他

(1) 今後の役員会 ⇒ 平成31年 2/3(日)・4/7(日)

(2) 卒業後60年の会員への記念品等の件 ⇒ 担当の山岡副会長より、校章等が入った大学のマグカップの提案があり、図案等について2月の役員会で決定する。

(3) 映画鑑賞会 ⇒ ①11月29日(木)「道」について、②次回以降について

・次回は2月28日(木)「卒業」を上映する。

・映画鑑賞会の運営については、次回役員会で決定する。

(4) 結婚相談室「いなほ会」の件 ⇒ 当面、高橋会長が連絡窓口となる。



○東村山稲門会第23回総会

11月10日(土)15時より、サンパルネ・コンベンションホールで、第23回通常総会が開催された。参加者は来賓17名を含め105名。

第1部＜通常総会＞ 議長は大内会長。平成29年度の事業報告、会計報告、監査報告。続いて平成30年度の事業計画、予算案が、可決承認された。

第2部＜講演会＞ 講師…吉田誠夫(のぶお)(株)伊場仙取締役社長・伊場仙14代当主(S46年理工) 演題…世界都市『江戸誕生の物語』 江戸は徳川や三河の人々、紅毛人によって創られたとの口伝があり、吉田氏はこれに着想を得て、小説を書かれている。江戸の困難な開拓の歴史等、パワーポイントを使用した、分かりやすく、江戸時代のイメージを身近に感じさせる講演だった。

第3部＜懇親パーティー＞ 17時40分開始。来賓祝辞、新役員紹介、退任役員への記念品贈呈、東村山稲門会の歌、早稲田大学校歌斉唱等。大学公認サークルのニューオルリンズジャズクラブの生演奏で盛り上がり、20時、和やかに閉幕した。 山岡 恭子 記

○東京都23区支部・東京三多摩支部合同会長懇話会

平成30年11月30日18時30分より、大隈記念タワー「森の風」で東京都23区支部23名、東京三多摩支部26名の会長で合同会長懇話会が開催された。

岡田調布稲門会会長の挨拶、来賓の紹介、田中総長が体調不良により欠席したため来賓の挨拶は萬代校友会代表幹事、その後23区支部、三多摩支部の活動報告の後、懇親会が開催され20時30分に終了した。 高橋 哲男 記

○2018年商議員フォーラム

平成30年12月1日14時より大隈記念講堂にて2018年商議員フォーラムが開催された。商議員フォーラムは、通常は大学の教育活動等に対する取り組み状況を伝えているが今回は、田中総長の所信であり、参加した商議員も例年より2～3割多かった。主な報告は以下にて。

1. 総長について: 総長は、1975年政治経済学部政治学科を卒業しオハイオ州立大学に留学、大学院教育は全て海外で終了。 1) 早稲田大学院・助手からの生え抜きではない戦後初の総長 2) 競技スポーツセンター公認の体育各部出身の初の総長 3) 主要国際学会の会長を務めた初の総長

2. 理事会について: 理事会構成は理事18名、監事3名(女性3名は初)、このなかで早稲田大学院・助手からの生え抜きは4名。

3. 総長の教育方針：「世界で輝く早稲田」をめざす。 1) 世界トップクラスになる決意と覚悟が必要、40 年後には世界トップクラス(30～40 位)の大学をめざす。現在 200～300 位 2) 世界で輝く WASEDA になるための必要な覚悟、優秀な人材の採用(教職員全員が自分より優れた者を採用する) 3) 総長が示すべく早稲田の方向性とは：総長の仕事は全員を牽引する旗振り役—全教職員の方向性の共有・各学部・研究科の質の高い研究と教育の推進・一致した価値観の共有 4) 早稲田のグランド・デザインを新たに構築する。学問の独立・学問の活用・模範国民の造修から研究の早稲田・教育の早稲田・貢献の早稲田へ。これは、①早稲田 WASEDAVISION150 を継承 ②Nextstage への進化 ③世界で通用する研究と教育による。

4. その他：1) 医学部については、歴代の総長が検討してきたこと。しかし、医学部の新規認可は、難しい。設置するのであれば、人間科学部及び理工学部を活かして単科大学と対等合併である。しかし、現在対象がない。2) 入試については、政治経済学部には数学的思考が必要であり、数学Ⅰ、数学Ⅱを試験科目にする。共通入試は東大、慶応は全員満点なので活用しないが早稲田は基礎力をみるのに使い、その上で受験生の特性をみる。3) スポーツについては推薦枠を増やさず、学力を伴った生徒を指導していく。A 大学や T 大学とは違う。

説明不足の面もありますが、劇的で多難な変革ですが、「世界で輝く早稲田」になるために、総長を応援したいと思います。一方、遠い早稲田になる一抹の不安はあります。 高橋 哲男 記

部会報告

＜旅行同好会＞ 「渋温泉金具屋に泊まり富岡製糸場と小布施を巡る旅」

第 14 回の東久留米稲門会旅行同好会の旅は、世界遺産になった富岡製糸場を見学して渋温泉の老舗旅館金具屋に泊まり、次の日は小布施で北斎の名画を鑑賞する旅でした。

11 月 11 日(日)、12 日(月)共に天気が良く、山の紅葉も丁度見ごろを迎えており大変楽しい旅になりました。今回の旅は初めて参加された方もいて総勢 14 人でした。皆さん早く来られたので予定より少し早く 7 時 40 分に東久留米市役所前を出発しました。最初は富岡製糸場の見学です。ここでは専門のガイドが付いて説明をしてもらいました。明治の初め生糸は主要な外貨を稼ぐ輸出品で、糸を紡ぐ作業を効率的に大量に生産できるようにと計画された官営の製糸場でした。敷地内には国宝の建物が 3 棟、重要文化財の建物が 3 棟あり、平成 26 年に世界遺産に登録されています。秋の行楽シーズンの日曜日とあって沢山のグループがそれぞれガイドに連れられて見学していました。

バスは佐久インターから昼食の場所である大浅間ゴルフクラブに向かい、名門ゴルフコースのカツカレーを堪能しました。さすが名門クラブだけあってサービスが行き届いているのに感心しました。

3 時過ぎには今日の宿泊場所である渋温泉金具屋に着き、宴会の時間である 6 時まで各自思い思いに温泉を楽しみました。渋温泉には 9 か所の共同浴場があり、渋温泉の宿泊客は自分で鍵を持っていき自由に出来るようになっています。筆者は 9 番湯だけ入りましたが、1 番から 9 番まで完湯した人も何人



世界遺産 富岡製糸場の前で記念写真

かいたようです。

旅館金具屋は以前は鍛冶屋であったことからこの名前になったとのことでした。先々代が昭和10年ごろに増築したところは先々代の遊び心とそれを可能にした棟梁の技術がいたるところに現れている大変興味を引く建物で、次期当主となる9代目が建物の中を案内してくれました。その建物の外観がアニメ「千と千尋の神隠し」のあの旅館に似ていると云うことで有名になったようです。

宴会はいつも楽しいです。今回も山海の美味しい食事、美味しいお酒、それに楽しい会話でおおいに盛り上がりました。

二日目は最初に岩松院に行きました。ここは北斎の天井画「八方睨み鳳凰図」で有名なお寺です。本堂天井の極彩色の天井画は色がまだ鮮やかなのが驚きですが、京都の大寺院の天井画に比べればそのスケールの違いは歴然としていました。

北斎館駐車場でバスを降り、北斎館を見学しました。ここでは肉筆画や版画の出来る過程などが興味を引きました。昼食は竹風堂小布施本店で栗おこわで、皆さんからは美味しいと大変好評でした。ここでめいめいお土産を買っていました。

食後は自由時間で皆さん思い思いに高井鴻山記念館や足を延ばして中島千波館まで行った人もいました。高井鴻山はこの地の豪商で江戸遊学中に北斎と出会い、北斎を小布施に招いた人でした。

バスは小布施を後にして、国道沿いのリング直売所に立ち寄りました。東京ではなかなか見られないような大きなリングが売られており、さすがリング王国だと感心しました。裏にはリング畑があり、真っ赤な大きなリングが一本の木に鈴なりになっている光景は初めてであり感激しました。バスは帰途に就き途中釜めしを買うために横川SAで休憩しましたが、お土産におこわを買った人はさすがに釜めしには手が出なかったようでした。

高坂SAで最後の休憩を取り、バスは予定通り午後5時30分過ぎに東久留米駅に無事到着し、第14回のバス旅行も滞りなく終了しました。

平成24年以来7年間に亘って14回のバス旅行をしてきましたが、一泊二日でバスで行くところも行き尽した感があるので、東久留米稲門会旅行同好会のバス旅行もこの辺で一応終了とします。また新しい企画があれば同好の士と旅をしたいと考えています。

7年間に亘ってお付き合い頂いた皆さん、また一回でも参加して下さい下さった方々に改めて有難うございました。

井坂 宏 記



伊勢温泉の外湯



金具屋の建物



金具屋の玄関前にて

＜ゴルフ部会＞ 第29回 東久留米稲門会・三田会合同コンペ



秋の東久留米早慶ゴルフ会参加の面々

加で楽しくラウンドできました。結果、個人戦は春に続いてのベスグロ(92)で三田会の城山さんが優勝、準優勝は稲門会の青柳さんでした。3、4、5位も稲門会で、上位6人で争う団体戦は455.8-461.6で稲門会が雪辱を果たし、対戦成績は15勝14敗となりました。次回は春に第30回の記念大会となります。大会を盛り上げるべく計画していますので多数の参加を期待します。次回、4月は稲門会、5月は三田会との合同コンペの予定です。

金子 孝司 記

＜囲碁部会＞ 合宿報告

11月24(土)～25(日)秩父の越後屋旅館にて合宿を行いました。宿に着き、秩父そばに野菜の天ぷらで昼食をとると、早速総勢6名の総当たりのリーグ戦の開始となりました。各々4戦したところで夕食となりました。鮎の塩焼きなどいつもながらのもてなしと料理。そしてビール、ワイン、骨酒などを楽しみ最終ラウンドに突入。その時点で3勝1敗が二人、2勝2敗が二人と拮抗状態。お酒も入り熱の入った最終戦の結果 優勝は4勝1敗栗林さん、準優勝は3勝2敗鮎貝さん、3位3勝2敗酒井さんとなり、授与式は翌日として、深夜まで打ちたい者同士で手談を戦わせました。

東稲囲碁部には、同率の場合は下位者を上位とするという特別ルールがあり平和が保たれています。囲碁は 我々にとってはボケ防止、子供には思考力、想像力をつけるに最強の？ゲームではないかと言われております。初心者、級位者はいつでも大歓迎です。毎月第4日曜日13時から、成美会館にて楽しんでいきますので、是非一度お越しください。

中村 敏明 記



入賞者を前列にしての記念写真

<女性サークル>

11月29日、今年度初の女性サークルランチ会が行われました。場所は、東久留米駅近くの「花つづみ」です。待ち合わせ場所は、東久留米駅東口としましたが、そこまで歩いていられっしやる方は少なく、バス、電車、自転車を利用しての集合、皆さまのお住まいが広範囲にわたっていることを、改めて認識しました。

花つづみは、ちょうど開店一周年を迎えた由、特別価格で、可愛らしく盛り付けられた料理を味わうことが出来ました。主婦ですから、盛り付け方はもちろん、器にも注目が集まり、あれこれと話が広がりました。月一回開かれている読書会の参加人数は6~7名くらいですが、ランチ会はそれを上回る10名の参加があり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

片平 るみ 記



<書道部会>

書道部ミニ作品展報告

手袋とコートが必要になってきた師走12月9日、武藤書道部会長の発案で、初めての試みとなる自分の座右の銘をテーマとしたミニ作品展を開催いたしました。2年に一度の作品展が我々書道部会員の目標でしたが、このミニ作品展を行うことになって以来、日々の練習に焦りと緊張感が伴い、この日を迎えました。

それぞれの座右の銘は、幼少時代からのものや青春・壮年・熟年時代を経て感じられたもの等、その人その人の人生という大げさではありますが、通常の作品展にはない、興味深いものになりました。お忙しいところ、おいでいただいた会員各位に感謝を申し上げます。皆様のご感想はいかがでしたでしょうか。

今年(2019年)の秋に行われる第10回目の作品展に向けて、新たなスタートを切る書道部ですが、現在、新会員を募集中ですので、幼いころの墨の匂いを思い出したい方、決して敷居は高くありませんので、お気軽に声をかけていただきたく、お願い申し上げます。

大矢 真弘 記



書道部会 「座右の銘」作品展にて集合



各々の作品と一緒に

書道部会に入会して

書道部会に入会してはや1年が経ちました。書道の経験も無いのに、数十年前に某デパートの「中国産品展示会」で購入した「硯」を一度も使用していないので、役に立つかと思ったのです。ところが、今は「硯」は必要ないようで、墨汁だけでも十分のようです。

そして、腕の方は初心者の浅はかさというか、筆に振り回されているところであります。 安次峰 暁 記



安次峰さんとその作品



武藤書道部会長

<ウォーキング&山歩き部会>

『甲州街道を歩く』第11回(11月5日)【石和温泉⇒甲府⇒竜王】

今回は、いよいよ甲州道中(江戸時代の名称)の主要地である甲府に歩を進める。総勢9名(男5、女4)でJR石和温泉駅からスタートした。60年近く前に畑地に開かれた温泉場だけに、駅から綺麗に整理された道路を約1km歩き、甲州道中に入る。甲府が間近とあって、街道は店並も揃ってきて、街に入ってきていることが分かる。摩利支天尊堂にて休憩をとったところ、丁度、青梅街道追分の交差点があ



摩利支天尊堂の前で

る。更に進んだ街中にある天正十年(1582)創業の印傳屋では、買い物での物色に勤しんだ。現在の甲府の中核をなす「甲府柳町」の中心に至り、甲府駅に続く大通りを散策しながら、昼食をとるべく「甲州ほうとう」の店を甲府駅近くに見出した。昼時の混雑の為食事には1時間近くを要したが、山梨名物にふうふう言いながら舌鼓を打った。

甲州海道(当初はこう記し、後に甲州道中となった)は、徳川家康が生命線と考えて作った道である。江戸城に危機が迫った際、服部半蔵の手引きで、江戸城半蔵門から甲州海道に入り、内藤新宿で「百人組鉄砲隊」、八王子で「千人同心」を従えて甲府城に入り、富士川の舟運で一気に駿府に抜ける主要路とした。従って、江戸時代の初めは甲府迄の道が整備さ

った。内藤新宿で甲州道中から分れ、青梅、大菩薩峠を経て再び甲州道中に合流する両街道の出会いの場であり、「鶴川の渡し」を避ける人々が利用したという。歩みを進めてJR酒折駅に近い辺り、正月の駅伝で有名な山梨大学の近代的な建物とキャンパスが迫ってきて、いよいよ甲府の街に入ってきた感が強くなる



山梨県庁前にて

れ、後に下諏訪まで延長されたものである。この歴史を鑑みると、今回の甲府到着で甲州街道を歩く目標の第一は成し遂げたとも言える訳で、一同、或る意味での達成感に浸ったものである。

ほうとうの美味の余韻が残る中、甲府の中心、県庁、市役所のある大通りを散策しながら、次の竜王駅を目指す。途中にある文殊神社に、芭蕉の「物言えば唇寒し秋の風」の句碑を訪ねたが、捨て去られたような有様で、句の有名さに対して思いもよらない句碑の扱いに、心痛むことを禁じえなかった。竜王新町交差点でウォーキングの切り上げ組が分かれて、JR 竜王駅から帰路についた。残りの男5名であと4km超先にある JR 塩崎駅を目指した。中央高速道は甲府昭和 IC を過ぎると双葉^パーキングに向かって急坂になるが、双葉^パーキングに隣接して通る塩崎駅への道も、これまでの平坦な道とは異なる相当な急坂であった。坂を登り切った後は、古い街道の名残を感じさせる街並みがある一方で、最近の道路開発とごちゃ混ぜとなった風景もあり、複雑な思いをしながらの最終駅到着であった。帰りの電車では、大月までは乗客が少ないこともあり、甲府駅で買い込んだお酒を楽しむ内に、中央線特別快速への乗り換えとなった。

(第 69 回) 11 月 26 日高尾山から尾根歩き (城山を経て小仏峠を下る)



高尾山山頂

先ず、お詫びから。当初の案内では、ケーブルで高尾山を登ることから「今回のウォーキングの負荷は軽いので、気軽にご参加下さい」と書きましたが、実際に下見に赴くと、高尾山頂上より先の尾根歩きのアップダウンは、山歩き初級者程度の負荷があることが分かり、直前になってその旨を修正(参加実績のある方へメールで送付)、失礼致しました。

年間 300 万人が訪れ、仏国のミシュラン観光ガイドで三星を取得している高尾山は、多くの方が行ったことがあると言われる人気スポットである。信仰面

では、薬王院の開基は天平 16 年(744 年)に遡るという歴史を誇る。今回は、先ず前に来たことを(昔を?)思い出しながら高尾山頂上迄歩き、その先山梨県迄続く「小仏層群」*と命名される地層の褶曲構造の尾根伝いに、富士山の眺望や終盤期の紅葉を楽しみながらウォーキングすることにしました。

*日本列島が大陸から分れるより遥か前の 1 億年前に、海底に堆積した砂や泥の層が、地殻変動に伴い盛り上げられてできた。高尾山の造山もその一環。

恵まれた空模様の下に総勢 11 名(紅 1 点)は、日本一の斜度を持つケーブルで一息に標高 472m の高尾山駅に立った。1 号路に沿って高い木々が茂る道を進み、蛸足のような根の蛸杉を過ぎ、女坂を登り(老齢を考慮)、薬王院の仁王門を潜って烏天狗に出会って休憩。大本堂脇の階段を登って永和元年(1375 年)に中興開基された飯綱(いづな)権現堂をお参り、その先に続く坂道には少し息を切らせながら標高 599m の山頂に着いた。山頂はビジターセンター、茶店、トイレ等、良く整備された広場になっており、平日にも拘わらず観光客が多く、また少なからぬ外国人も混じっていた。展望台からは、少し霞んでいたが上半身に雪をまとった富士山が望まれ、快晴なら絶景スポットであろうと容易に想像された。更に少し進んで、観光客も減った「もみじ台」(奥高尾)にある茶店で、名物の「なめこ汁」に舌鼓を打ちながら昼食をとった。「なめこ汁」の美味と不愛想な店員が記憶に残った。



城山頂上の広場にて

昼食後は、標高差 127m を下り、再び 99m を登って小 1 時間、一丁平で休憩。途中、紅葉はほぼ終わっていたが、この展望台からも富士山を含む山々が望まれ、高尾山に比べて回りに人が少ないだけに、雄大な眺望をゆっくりと楽しむことが出来た。更に小半時かけて、標高差 99m に息を切らせて登り、漸く今回の最高峰 670m の城山に到達。次に備えて長めの休憩をとり、きつかった急なダウンの後のアップによる疲れを癒した。城山から小仏峠(548m)迄は 30 分弱で一気に下ったが、途中、相模湖を見

下ろす景色の美しさは、一時歩みを忘れて佇んでしまう程であった。

その昔、甲州道中(甲州街道の旧称)の難所と言われた小仏峠は、今春「甲州街道を歩く」企画で高尾方面から登り、きつかった記憶があるが、今回は逆に小仏峠から高尾方面に下り、街道の登りと下りの負荷が雲泥の差であることを改めて実感したものである。東久留米に帰り、恒例の打ち上げを行った。

『甲州街道を歩く』第 12 回 (12 月 10 日) JR 塩崎駅→韭崎→JR 日野春駅

師走の声を聞いても、例年になく暖かい日が続いていたが、漸く冬の訪れが到来したと感じられる寒さの中、総勢 10 名(男 6、女 4)は、特急「あずさ」から乗り継いで、甲府から 2 つ目の JR 塩崎駅に降り立った。

この日の行程は、現在の主要道路である国道 20 号線に沿ってはいるものの、多くはそれとは少し逸れた県道として残っている甲州道中(旧甲州街道)が対象になっている。そこに立つ建物の鄙びた佇まいを味わい、道から望む山々の景色も楽しみながらの、遠足というのがぴったりの長閑さを感じながらのウォーキングであった。また今回は、甲府を過ぎたということもあり、道祖神等はあるものの見るべき旧跡、遺跡もこれまでの道中に比べて乏しく、街道に沿った壮大な崖の連なりや迫りくる山々に囲まれて、自然の懷に抱かれた感じがしたことも印象に残った。

韭崎市に入る市境の塩川に架かる塩川橋の辺りからは、左手間近に、南アルプスの鳳凰三山が迫る。その中の地藏岳の山頂部にあるオベリスク(地藏仏)と呼ばれる三角錐の巨大な尖塔が肉眼で見えるようになり、更にその山筋の先に標高 2967m に及ぶ三角に尖った甲斐駒ヶ岳をはっきりと望めるようになった。また目を正面に転じると、少し遠くに南八ヶ岳の権現岳、編笠山も目に入ってきた。

橋を渡って韭崎市に入り、関東三観音の一つである平和観音の真っ白な立像を右手に見ながら韭崎宿



七理岩を背に

本陣跡の標識を過ぎる頃、小一時間が過ぎたので郷土館の広場を見付けて休憩。甲州道中は、この辺りから右手に小高い崖が迫ってくるようになり、この先ずっと釜無川(かまなしがわ)の流域を通るに従って、右手の「七里岩」と呼ばれる崖も続くことになる。この崖は、日本列島に未だ人

が住む前の 20 万年前に、富士山程の高さだったと言われる八ヶ岳の古阿弥陀岳火山が大崩壊を起こし、一気に 1500m も低くなったことによる産物であるという。「葦崎岩屑流」と名付けられており、50 km に亘って流れ下り葦崎を越えて甲府盆地まで達している。釜無川に沿った街道から見渡すと、高さ 100m 以上の崖となって、今回のウォーキング中どこまでも続いていた。現在の中央本線、中央自動車道はこの崖の上を走っているが、かつて甲州道中を歩いた旅人は、延々と続く七里岩の崖を見上げながら歩いたのであると思いを馳せながら我々もウォーキングを進め、七里岩を見上げる公園で昼食をとった。街道の先に目を上げると、大崩壊後の火山活動で出来た権現岳の奥に主峰赤岳を、それらの左側手前には最も新しく出来た（それでも 10 万年前）編笠山の丸い頂が前より近くなって見えるようになり、自然の営みへの畏敬の念が去来したのは筆者だけではなかったと思われる。

帰路の JR 駅に出るにはいずれも 100m 超の崖を登ることになる。最初にウォーキングを切り上げた組は、辺り一面荒野と言える穴山三軒屋から、1 km 超先の JR 穴山駅を目指し、崖に向かう道に分け入った。残りの健脚組は、だらだらと続く 20 号線沿の旧道を一駅先の JR 日野春駅に向けて歩を進めた。崖の上の駅へ登る 2 km 超の道路に掛かり始めた時、崖の林の中に「野猿返し」と名付けられた細い急騰の近道を見付けた。汗だくになりながら息を切らせて登り、改めて崖の上から遥かに下を流れる釜無川を眺めやり、その高さを実感する一方、本道を外れた無謀さを思い知った。 東海 俊孝 記

＜バドミントン部会＞ ” 100 回目の練習 ”

2018 年 12 月 21 日の練習で、バドミントン部会の練習が 100 回を迎えました。全くの素人、未経験者達、よくもやってきました。2016 年 4 月に前進の I・R・S でキャッチボール会としてスタート、その後卓球、バドミントンと楽しみながら 5 回目からバドミントンを独立してやると意見の一致を見、練習場も東久留米スポーツセンターに固定しました。9 回目より、外部から専属コーチ(中澤道宣氏)を招聘し現在に至ります。中澤コーチには、ルール、ラケットの握り方、手首の使い方、スウィングの仕方から始まり、サーブ、ショートゲーム、ロングショット、攻守の切り替え、戦略など本当にイロハのイから丁寧に辛抱強く教えていただきました。

おかげさまで 2017 年、2018 年とバドミントンの東久留米選手権に代表選手をおくることができるところまで到達しました。また 2018 年 11 月には、オリンピック代表選手で日本選手権も獲得された米倉加奈子さんのバドミントン講習会にも 3 名の会員が参加し最新の技術指導を受けてきました。部会員も一流プレイヤーのゲームをテレビ観戦したりして技術・戦略の熟達への研鑽に励んでいます。幸いにも現在の日本のプレイヤーは世界のトップ中のトップがずらりとならんでいる為、素晴らしいゲームを始

終見ることができます。このようにして毎週金曜日に積み重ねた練習回数が 100 回です。60 歳～80 歳のメンバーで全員初心者、ゼロからのスタートでよくもまーここまで来たものです。皆バドミントンが好きなのです！！会員は 16 名、常時 12 名～15 名が嬌声をあげ汗を滴らせながら 101 回目からの再スタートを開始しました。1000 回を目指して。 渡辺 真司 記



百回目の練習に参加したメンバー

米倉加奈子のバドミントン教室に参加して

11月23日市の主催バド教室に参加しました。渡辺部会長、片平(邦)と私の三名。米倉さんは元日本代表で東久留米市には2度目の登場とのこと。彼女の造語でユビワーク。ラケットを手で握りしめないで親指と人差し指で軽く挟むこと。するとラケットを立てたり横に開いたり楽に動作可能になります。その動作に手首、肘、肩、腰、足とシャトルにパワーをつける方法は多々ありますが、バドの基本はスピードなのでユビワークが最も重要だと教えられました。などなど専門的なことは色々ありましたが、バド人口がオリンピック以降増加して、すそ野が広がり、今年初めて男女共に世界ランク1位(桃田賢斗、山口茜)になりましたし、80代でもバドを続けている人が相当な数になると聞いて、私たちは元気付けられました。私たちは2年半ほど前にコーチ以外全員初心者でスタートし、羽根突きが2〜3回しか続かない状態から、スマッシュ、ドロップ、クリアーなど一通りは熟せ、楽しめるようになってきました。変にほめ上手なコーチの存在と、なにより週一で続けてきたことが財産になっていると感じています。練習は毎週金曜日10時半くらいから2時間、東久留米市スポーツセンターにて開催しています。



バド教室参加者 右上が渡辺部会長、左下が米倉さん

中村 敏明 記

東久留米市バドミントン大会に参加して

12月9日(日)バドの市民大会に参加しました。東稲からは森野さんと私の1ペアのみ。バド歴1年と2年です。実は一昨年始めて2〜3か月で不遜にも同大会に初参加。東稲より2組参加し結局東稲以外には全敗しました。今回は「何としても1勝を挙げる」がテーマ。開会式などの後1時間半待ちで出番に。ABCDとランクがあり私たちはDクラス。初戦、審判員の声も聞こえない状況の中、あっという間に敗退。相手方の一人は「レベル違いすぎ」感あり。次の試合の線審を行う。1試合終わると次試合の審判員を務める、これが運営上のルール。ランチを挟んで2試合目。相手は30〜40代の女子ペア。出だしは相手のサーブミスなどで7-3でリード。希望を抱いたのはこの瞬間まででした。自力に勝る相手のスマッシュ(ボディ狙い)などに文字通り翻弄されて2ゲームとも15点取られて敗走しました。3時20分から第3試合。相手は前出より若干?年配とみられる女子ペア。何とも情けないくらいアツという間に2ゲーム落としました。20〜30分の審判義務を果たしてトットト帰り支度。その前にと成績表を覗くと、ナント3位になっている。ナニかの間違いと思い本部に尋ねると初戦の相手は一人ドタキャンで代わりに本部から応援が入ったらしい。従って彼らは3戦とも不戦敗扱いになり私たちは不戦勝という一勝をあげたことになりました。一つ勝ったら記事を寄稿しますと編集長に約束した手前複雑な心境です。Dクラスが4チームのみのエントリー。負けた女性に尋ねるとバド歴は5〜6年とのこと。バド連盟の田中会長にはDクラスの条件を年齢やバド歴など条件を整え参加希望者が増えるようになるとよいですね、と希望を伝えて帰りました。因みに今回の参加者は76チーム152名でした。



2試合目の対戦相手

中村 敏明 記

<カラオケ部会> 12月25日(火) 「カラオケを楽しむ会」

平成30年を象徴する漢字は「災」、西日本の豪雨、北海道の東部地震をはじめ、各地で自然災害に見舞われ、特に最近では、これまで経験したことがない規模の災害が目立っています。また、国際的な政情不安や大きな経済変動もあり、慌ただしい年末となりました。来年も、温暖化による気象変動や揺れ動く政治経済情勢など、不透明な要素が山積しています。

このようなマクロの流れはさておき、身の周りには、ラグビーが何年ぶりかで、お正月を越せるこ

ととなり、3 日は楽しみな時間を迎えられそうです。

ところで足許は、いつものメンバーを中心に、16 名の歌侍が「オンチッチ」に集結、恒例となっている馬場さんの「ひばりの佐渡情話」を皮切りに、それぞれステージに立ち、歓声とヤジの中で、スポットライトを浴びながら、すっかり歌手気分を満喫しました。それに、何を言っても気の置けない仲間と、お互い日ごろの憂さを晴らしつつ、身体に溜まった余分な塵芥を追い出すことができ、スッキリした気分になりました。2 周回ったところで、パネルに「紺碧の空」と「早稲田大学校歌」の文字が浮かび、全員で高らかに歌い上げ、一息入れてからラストスパートに入り、おのおの方渾身のラスト 1 曲のご披露に及びました。いつの間にか時が流れ、頃はよし、お互い肩を組みながら、再度「都の西北」を高らかに歌い上げ、大団円となりました。

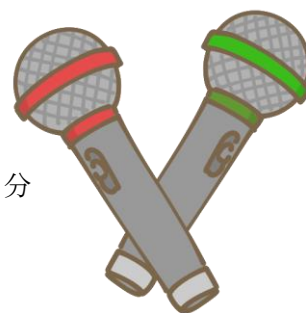
なお、エネルギーと時間に余裕のある方は、深更に及ぶまで、一層マイクと親しみ、年の瀬をエンジョイしていました。



12 月 25 日クリスマスの夜に集合した歌侍たち

当日の参加者（敬称略、歌の順）と曲目は次のとおり。

1. 馬場 清彦 ①ひばりの佐渡情話 ②おゆき ③酔いどれ ④望郷酒場
2. 安次峰 暁 ①夜霧のブルース ②湯の町エレジー ③逢いたかったぜ
3. 平山 正経 ①明日は明日の風が吹く ②冬隣 ③東京ブルース
4. 渡辺 真司 ①あなたの心に ②東京かチート ③北酒場
5. 高橋 哲男 ①いちご白書をもう一度 ②夢一夜 ③桃色吐息
6. 村上 万里 ①マイレディ ②長い夜 (所用により退席)
7. 小山田朋樹 ①足手まとい ②海 その愛 ③大阪で生まれた女
8. 山口 謙二 ①ラブレター ②こいさんのラブコール ③羽田発 7 時 50 分
9. 高柳 康夫 ①函館の女 ②雨の中の二人 ③涙をふいて
10. 長谷山勝美 ①別れ雪 ②くちなしの花 ③東京の日よいつまでも
11. 後藤 秀作 ①雪列車 ②はぐれコキリコ ③時代屋の恋
12. 東海 俊孝 ①北の旅人 ②柿の木坂の家 ③みちのく一人旅
13. 比護喜一郎 ①君こそわが命 ②誰もいない海 ③千曲川
14. 安藤 信雄 ①柔 ②柔道一代 ③踊子



15. 井坂 宏 ①北酒場 ②冬のリビエラ ③サントワマミー
 16. 帆角 信美 ①長崎は今日も雨だった ②雨に咲く花 ③宗右衛門町ブルース
 全 員 ①紺碧の空 ②早稲田大学校歌

高柳 康夫 記

<俳句部会>

第220回 11月18日(日) 兼題：冬紅葉 芭蕉忌
 席題：動物一切

高点句

行く先を犬に委ねて小春かな	大久保泰司
楼門に鴉たむろす神の留守	片平るみ
鯉の背を打つ音やさし冬紅葉蝶	安宅武一
芭蕉忌や遠くに滲む近江の灯	三浦洋子
冬紅葉深山の宿にひとり居て	比護喜一郎

自選一句

時雨忌や山寺まだか千十五段	橘優治
今日も又無為に過ごして鴉日和	神田尚計
落日をよぎる鴉や芭蕉の忌	杉本達夫
芭蕉忌や夢跡叫びムンク和す	馬場清彦
ポール手に歩く人群れ冬紅葉	川島知子



第221回 12月16日(日) 兼題：山眠る 湯冷め
 席題：望

高点句

故郷の父母を抱きて山眠る	三浦洋子
遠耳に湯ざめ気づかふつまの声	川島知子
来年も生きる望みや日記買ふ	神田尚計
湯冷めしてむずかる嬰を持て余す	片平るみ

自選一句

八村を懷にして山眠る	杉本達夫
湯治場の土産あさりの湯冷めかな	大久保泰司
空低く浮く残月や山眠る	比護喜一郎
去年今年望浮かびて沈みけり	橘優治
火照りして抜き襟広く湯冷めかな	馬場清彦
湯を出れば湯冷め案じる母の声	安宅武一

片平 るみ 記

<ラグビー観戦部会> PENALTY 有難う

12月2日 早稲田 17:13 明治で折り返して、後半開始11分、早稲田ゴールポストを背にして10m中央。早稲田ノックオン。明治ボールスクラム。虚弱スクラムの早稲田自陣での your ball はまずい。明治 TryG で7点、17:20 と早くも先を越されてしまう。明治ペースになってしまう。三途の川を目の前にしたスクラム。ピーとレフリーの笛が鳴って、PENALTY。やっぱりと思っていると、レフリーの手は明治 PENALTY を示している。何が起きたのか？ PR①鶴川君「明治スクラム余裕持っている感じでこちらでも Pride が。コーチに云われた様に兎に角低く組もうと。対面の明治 PR③が膝をついた。」

危機脱出の早稲田、13分、14分 CTB⑫中野君の連続 Try で 31:13。目覚めた明治強力 FW を前面に出して 2 Try。31:27 と肉薄も時既に遅し。明治 Backs にも優秀な選手を揃えているだけに全員 Rugby で勝たなかったのだろう。昔のように FW でガンガン来られたら精一杯の早稲田陥落だったろう。

12月22日 早稲田 15:19 慶応 慶応勝利目前の試合終了間際慶応ボールスクラム 何と慶応アーリープッシュかコラプスの反則。S0 岸岡君、当然タッチキックを狙う、キックと同時に80分経過のホーンが鳴る。投げるのは途中入った Ho 峨家君、一番安全な Lo 下川君に合わせる。Nice catch。慶応の防御壁に突っ込む、横に振る。ノックオンするな、オフサイド駄目だぞ、と祈るばかり。慶応オフサイド。アドバンの chance に岸岡君右に振る、右に廻っていた左 WTB 佐々木君 Line 際を走ってインゴールに飛び込む。Flag が揺れている。タッチ踏んでいない。Try。逆転4分余のインジュ



リータイム一杯。20:19。一点差。おつり無し。手中の勝利がこぼれてしまった慶応選手の涙。かわいそう。早稲田 2013 年以來の正月オメデトウ。

12 月 26 日餅つき。ノロウイルスで中止になって以來の 4 年ぶり。3 年生以下は初めて。中野君 (3 年生)、丸尾君 (2 年生) 等楽しんでいる。4 人つきでは杵をぶつけ合ってしまうことも。逆手で杵を持つ 1 年生。餅つき初めてなのであろう。「相良さんがつくようだよ」 あれ、この子達監督を「さん」付けで呼ぶのか。兎に角今年の RUGBY 部は、明るい雰囲気の中でシーズン深まる毎に進化を遂げ、正月越えを果たしてくれた。有難う。2 日もがんばれよ。明治もムキになってくるぞ。今度はばんえい競馬馬の如く FW が暴れるかもヨ。

2018 年 12 月 29 日 藍原 昌義 記

部会だより

<ウォーキング&山歩き部会>

○ ウォーキング & 山歩き (第 70 回) 長瀬の宝登山で蠟梅を鑑賞。

日時：2 月 4 日 (月) 8 時 45 分東久留米駅改札口集合 (東久留米 8:52 発に乗車)

◎宝登山へはケーブルカーに乗る。ウォーキング 箇所は、長瀬駅とケーブルカー駅の間の 30 分程度と宝登山からの下り。一方、希望者はケーブルカー駅までバス利用で、殆ど歩かないことも出来る。

*雨天、強風、積雪あり、寒気が強い場合は中止 **参加者が少ない場合も中止

○ ウォーキング & 山歩き (臨時開催)

日時：3 月 13 日 (水) 高尾梅郷巡り

*実施可否を含めて、実施内容はこれから詰める。

高尾駅から数箇所の梅林を巡り歩き、木下沢 (こげざわ) 梅林を目指す。

歩行距離約 6 km 弱。疲れた場合、帰路はバスの利用が出来る。

○ ウォーキング番外篇 甲州街道を歩く

第 13 回【JR 日野春駅→JR 信濃境】 17.7 km (内 2.1 km はタクシー利用による距離減を検討中)

日時：1 月 21 日 (月) 6 時 50 分 東久留米駅改札口集合 *前回と同じ集合時間、同じ電車。

*雨天、強風、積雪あり、寒気が強い場合：1 ヶ月延期

○ 第 14 回【JR 信濃境駅→JR 青柳駅】 13.7 km

日時：2 月 18 日 (月) 6 時 50 分集合、東久留米駅改札口集合

*雨天、強風、積雪あり、寒気が強い場合：1 ヶ月延期

東海 俊孝 記

<カラオケ部会> 2 月 5 日 (火) 「馬場さんの米寿を祝う会」

1. と き：2 月 5 日 (火) 午後 6 時 30 分

2. ところ：オンチッチ

3. かいひ：4,000 円

4. 連絡先：高柳康夫

TEL/FAX：042-473-3559 携帯：090-8741-8424

E-mail：y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp

馬場清彦さんにおかれては、今年 2 月 5 日に満 88 歳の誕生日を迎えられ、心からお祝い申し上げます。つきましては、カラオケ部会として、お祝いの会を開催する予定ですので、皆様どうか奮ってご参加いただきますようよろしくお願いいたします。因みに、馬場さんは、殆ど部会にご出席され、18 番の「ひばりの佐渡情話」が始まらなないと、会がスタートできないことが長年の慣行となっており、常に「切り込み隊長」として会を盛り立てていただいています。

高柳 康夫 記



<映画鑑賞会> 第 63 回 2 月 29 日(木)14 時～於：成美教育文化会館

「卒業」 1967 年 アメリカ マイク・ニコルズ監督

大学を卒業したベンジャミンは、両親が開いたパーティーで父親の知人ロビンソン夫人に誘惑され密会を重ねる。夫人の娘のエレーヌが学校の休みで帰郷し、関係が微妙になる。心優しく純真なエレーヌ



に惹かれ愛し始めたベンジャミンに対し、嫉妬の夫人は、自分達の間を娘にばらすと脅すが、ベンジャミンの気持ちは変わらなかった。怒った夫人から彼との不倫を聞かされショックを受けたエレーヌは学校に帰ってしまう。ラストの花嫁略奪のシーンが余りに有名な青春映画の名作。D・ホフマンのデビュー作であり、青春映画の名作。ロビンソン夫人の存在感あるアン・バンクロフトがアカデミー主演女優賞に輝き、作品はアカデミー監督賞も受賞した。また『サウンド・オブ・サイレンス』『ミセス・ロビンソン』などサイモン&ガーファンの挿入歌もヒットした。

米光 慶二郎 記

<グルメ部会> 第 30 回東稲グルメ会のご案内

1. 開催日 平成 31 年 3 月 11 日(月)
2. 集合場所・時間 東久留米駅改札口 午前 9 時 00 分
(時間厳守 9 時 16 分の新木場行きに乗車します)
3. 場所 地下鉄東西線門前仲町駅「門前茶屋」(深川めし)
(江東区富岡 1-5-1 クレール門前仲町 1 階)
電話 03-3641-0660
4. 会費 男性 5 千円、女性 4 千円
5. その他

- ・食事の前に 1 時間半程、江戸情緒満点の門前仲町を散策します。
- ・申し込み締め切りは、2 月 28 日(木)まで

(但し座席の関係で先着 20 名にて締め切らせていただきます)

申し込み先 村野建彦 tel&fax 042-476-2829 携帯電話 090-4003-0273

Mail : murano@po.cnet-sc.ne.jp



東稲広報室

<訃報>

久家政裕会員(34 年商学部卒)が、12 月 4 日に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

<将棋指導者募集>

学童保育所で、将棋をしたい小学生がいます。初歩でいいので、指導して下さい方を募集。有料でお願いいたします。

詳細は、473-7003 前川初子まで。



<新年会ビンゴゲーム賞品提供のお願い>

1 月 19 日(日)13:30～、成美教育文化会館にて開催される当会新年会ですが、アトラクションとして例年通りビンゴゲームを行います。上位賞品には「商品券」を用意しておりますが、参加の皆様にも賞品に相応しい「品物」の提供をお願いしております。ご自宅で余っているもの未使用のもの等、新年会当日にご持参いただければ幸いです。

新年会担当幹事

早稲田散歩

佐藤 一郎 (平2年 政経)

11月某日、都心に用事があり時間にゆとりもあったので、久々に母校の近辺を散策してみようと思い立ちました。私は学生時代に東池袋に住んでおり、都電で通っていたので早稲田に行くのも当時と同じ東池袋四丁目から都電に乗り込み、一路早稲田へと向かいました。

今、都電荒川線の愛称は『東京さくらトラム』ということをご存知ですか？ 都電を降りてまず目に入ったのが学生時代に何度かコンパで訪れた『金城庵』でした。なんと来年創業100周年を迎えるとのこと。来年は友人を誘って同窓会でもしたいですね。



そのまま大隈通りを進むと左に見えるのが、今では数が激減し、近辺では数軒になってしまったという絶滅危惧種の雀荘『No.1』です。実はこの雀荘、私は今でも年に数回友人と卓を囲んでいます。驚くほど格安で場代は何時間打っても最大2000円です。しかも食事とアルコールを含むドリンクサービスも数時間ごとにあります。よく商売が成り立っていると思いますが、できるだけ長く続けてもらいたい雀荘です。その後大隈庭園を散策し、大学の構内も歩いてみましたが、立派なビルばかりで驚きました。私の学んだ政経の3号館も下の部分は昔の面影を残していますが内部と上部は近代的なビルです。ほとんどの建物が近代的になっていく中、演劇博物館は昔と変わらぬ佇まいを見せていました。



さて、お腹もすいたのでお昼はどこにしようかといろいろ考えましたが、結局『浅野屋』で蕎麦を食べることにしました。にしんそばを美味しくいただきました。『三品』も考えましたがこの年になると少し重いかと。それと残念ながら『三朝庵』は今年の7月末で閉店していました。様々な発見のあった早稲田散歩でした。皆さんもお時間のあるときに散策してみてください。



<編集後記>

平成最後のお正月。東久留米は三が日も風が冷たかったけど抜けるような青空。ラグビー駅伝共にTVにかじりついて応援するも残念な結果。お酒がちよっぴりほろ苦に。でも今年は新しい時代の幕開け。早稲田も新総長を擁しての飛躍の年にしてほしい。今号は秋の各部会イベント盛沢山、報告記事寄稿も予想外の多さで嬉しい悲鳴。紙面が膨らんでしまったが部会活動が活発な証拠、何卒ご容赦を。明治152年 大正108年 昭和94年 平成31年 ○○元年 幸多かれ2019年！ ←友人年賀状のｺﾋﾟｰ (朋)